



平成 28 年 8 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号：6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 28 年 7 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 28 年 7 月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	194	59.3%	16.2%	22.1%
F P D 分野	126	38.5%	△10.0%	△49.9%
その他分野	7	2.3%	△17.5%	△83.5%
合計	328	100.0%	3.6%	△28.1%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H27.8月	9月	10月	11月	12月	H28.1月
半導体分野	158	143	133	105	99	100
F P D 分野	237	202	250	250	233	217
その他分野	47	37	22	12	13	12
合計	443	383	406	368	346	330

区分	2月	3月	4月	5月	6月	7月
半導体分野	91	117	137	181	167	194
F P D 分野	199	176	184	173	140	126
その他分野	13	12	11	12	8	7
合計	304	306	334	367	316	328

3. 月次受注残高の概況

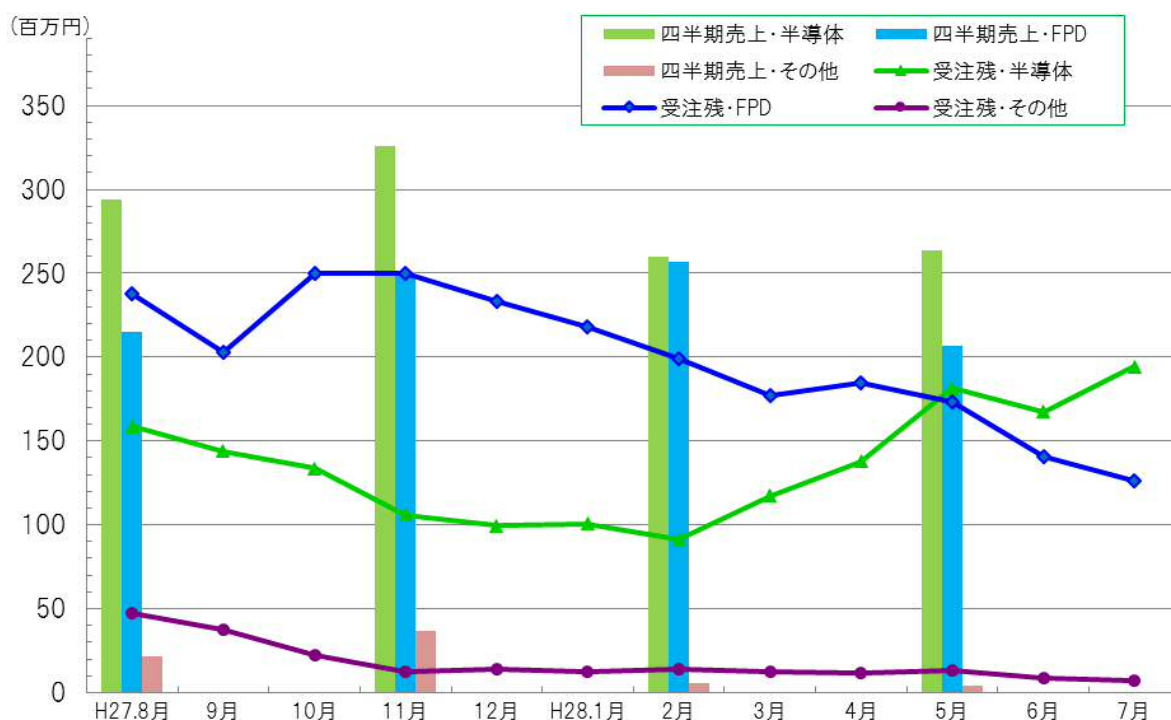
平成 28 年 7 月末の受注残高は、半導体分野においては、受注・売上検収ともに高水準で推移し、対前月増減率は 16.2%増、対前年同月増減率では 22.1%増の 194 百万円となりました。FPD 分野においては、高水準の売上検収が継続しつつも新規受注に至らない案件が多いことから受注残高は減少し、対前月増減率は 10.0%減、対前年同月増減率では 49.9%減の 126 百万円となりました。その他分野においても引き合いはありながらも受注には至らず、対前月増減率は 17.5%減、対前年同月増減率では 83.5%減の 7 百万円となりました。これらの結果、平成 28 年 7 月末の受注残高は、対前月増減率 3.6%増、対前年同月増減率 28.1%減の 328 百万円となりました。

今後の見通しとしましては、半導体分野では、微細化投資と 3D NAND の投資拡大により過去最高水準へ達しており、更に拡大傾向が強まる見通しです。FPD 分野では、受注は一時的に停滞していますが、有機 EL 向けの引合いが活発になっており、年末にかけて拡大し始める見通しです。また、第 10.5 世代大型パネルの設備投資計画も具体化しており、多数の引き合いを受けるなかで受注品種拡大に取り組んでおります。

全般的には、市場環境が良好に推移し引合いも増加しており、当社の試作能力および生産キャパの拡大が課題となっております。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。